

「あいさつ」の大切さを知る! 『経営者倫理セミナーに参加して』 ネムール株式会社代表取締役社長 佐藤良樹氏



☆ 過去、自分もいろいろと壁にぶつかり、色んなセミナー等に家族ぐるみで参加したりして勉強してきました。

自然に涙が出てきて、自分自身の愚かさを知るところもありましたが、今、改めて社長と言う立場に立って新たな自分自身の壁にぶつかって来ていることに気がついておりました。

以前より、倫理法人会のお話をいろんな方からお聴きしており、今回入会させていただき、2月に「経営者倫理セミナー」が富士研修所で開催されることを知り是非参加してくださいと誘われました。

忙しく、正直、それどころではありませんでしたが、布施MS委員長から「忙しいからこそ是非参加してください!」と背中を押され、それもそうだと正直思い、敢えて参加させていただきました。

今年、私のテーマは、「明るく、プラス発想!」であり社内発表もしてきましたが、自分自身がなりきることを宣言した以上、より本物にしたい、併せて、倫理とはなんぞや?を学ぶために参加させていただいたのが理由です。

会社も大変な時期でもあり、スケジュール的にも現実的に厳しい日程で、参加される皆さんとの集合・出発時間にも間に合わず失礼いたしました。単独で前日最終の新幹線で会場である御殿場の研修所に向かいました。

15日朝一番のりで会場に到着出来、実質2泊3日の研修期間中、色んな勉強をさせていただきました。

自分も62歳、ほとんどの友人達は定年となり、リタイヤし悠々自適な生活をしているようです。自分もあそこに行きたいとかとの欲望も当然ありましたが、経営環境厳しいなか、その中で自分自身を高めなければならないと感じて参りました。

☆朝、まず基本動作の「挨拶の訓練」、大変厳しく感じ、うるさく言われました。

先ず、戸惑ったのは、当社の挨拶の仕方と基本的な点でまるっきり違う点があったことです。相手の目を見て頭を下げることから始まるのが当社の挨拶の仕方で、倫理の教えの方は、声と一緒に頭から下げていく挨拶の仕方であったことです。

「挨拶訓練」、審査があり、審査が合格にならないと次のステップに進めず、グループ単位の連帯責任が求められました。挨拶の大事さ、十二分に分かっているつもりでしたが、分かっておらず、身をもって教えていただきました。6人グループ中、1人がチェック係。一人でも揃わないとダメ! 逆にやってみて大変興味深かったことは事実です。

基本動作が大事。声が低いとか、動作が悪い・・・、みんな揃えて行い、チェックされることで基本が体に染み込んでいきます。

☆私なりに頭に入った部分「明朗 愛和 喜働」。

それと、講師の方々から折々大変有意義な話を沢山伺いましたが、体験と合わせ自分の頭の中に仕組みとして非常に大事な部分、太陽パワーからの「気」の取り入れ方が入って来ました。

宇宙、太陽系の地球のなかで、我々は命を戴き生きていることの仕組み、自然への感謝です。

朝早く、太陽に手をかざし、太陽を自分に取り込み、自分に弱いところにパワー充電する方法です。

日の出と共に起き合掌、太陽と一体化すること、私にとって、太陽パワーの取り込みは、「書くこと、言うことの一一致体化したイメージを創る」はじまりになります。自分の手法として当たり前にしていく。そのときの感激感動として涙を流すことでなく、感激感動としても行うのではなく、理論・理屈と自分の一致、自分たちの良い自主性、理論とやることの一一致は、なるほど!と思えました。書くこと、言うこと、宣言することの繰り返しを行う訳です。

どうゆうタイミングで目標管理をはっきりと掴むか、希望の日を掲げることと同じことであり、且つ会社のテーマでの戦いでなく、自分自身での戦い Plan. Do. Check. Action 繰り返しとの戦いであることを改めて学びました

自分のテーマを、「書く、言う、誓う」、「週間単位、1 日単位、月単位」繰り返しを教えている理論はある訳ですが、「魂」をどう入れるかがポイントであることを改めて知りました。

「倫理」の良い点を取り入れれば良い！」と私なりに考えました。これは聖徳太子、戦争の争いを避ける為、神仏混合の策を取ったことが文化の源となっているとの、自分なりの解釈があるからです。「いい」と思うことは素直にやっ払いこう考えた次第です。

話は飛びますが、この会に参加されたならば、是非、この倫理研修会に参加されることをお勧めします。

当研修会に参加された方々の解決できない問題点など、一旦本部に持ち帰り検討され、回答することを行っていることを知りました。常に時代に合った問題解決のやり方の研修が、何時も本部でなされているということです。自分が体験し大変良かったと感じた事の一つです。是非、体験されたいと思います。

☆話は前後しますが、当研修会、「掃除」とか、それぞれグループがあり、初日は朝 4 時半起床。次の日 4 時起き。何でそんなに早起きなのか？ 最初、思いました。

前日午前 1 時過ぎに会場に入ったので、睡眠時間 3 時間ほど。寝不足のなかで参加したため、つらかったです。元々、朝早いのは得意ではありませんでしたので、しかし朝早く起きる事に意味がある事を知りました。

人間のサイクルはもう決まっている訳です。宇宙の理にかなっている事を学びました。昔から早起きは三文の得と言われております。

グループ分けの一つに、「禊ぎ」チームと「トイレ清掃」チームの二つがあり、希望により自分で選択できました。

元気の良いチームは、前夜から水を張ったバケツを外に出し準備、凍らせ、準備運動の後、一気に「ぱっ」と水を浴びる。もう一方で、「トイレ掃除」は禊ぎに近いものがあり、「そこまでの？」。自分として体にしみこんだ感じでした。トイレ掃除は仕事の原点、物事の原点であり、やってみると気持ちの整理がつきます。

自分にとっては意味のある、水を浴びることに変わる以上の体験をしてきたと考えております。

☆部屋の中で一緒に〇〇さん、大御所的な方でお歳 80 歳近い方がおられた。聞けば、毎日敢えて「禊ぎ」をしていると言います。理由は自分の為ではありません。自分の息子さんの嫁さんが癌であることをしり、「禊ぎ」を行ったところ、直りましたが、今回再発し困ってしまったとのこと。それで、治癒することを願い、毎朝祈念しながら行っているという話でした。

「すごいねー」と率直に感じました。治し方はいろんな方法があると思いますが、そこまでやろうとしている人がおることを知りました。素晴らしい、すごいと感じました。

「決心を書く、目標を書く」、期間を決めるとか期限を決めて信念を固め、決意、勉強させていただいたこと、家庭内で宣言、太陽と一体化のなか自分を高め、仕事、家庭に活かしていくことを学びました。

帰路、一緒だった中村県会長に、「会長、宣言をしているのですか？」と質問したところ、「当然です。戻ったら宣言してやっていきます。」との回答があり、「修了書は半年後にしかもらえない」ことを教えられました。

このようなことを聞けるのも一緒に行くメリットです。

小恥ずかしいとは思いましたが、帰社後、参加してきたことと、チーム内で宣言したことを社内で発表しました。

ここに決意した 3 項目書いた紙を毎日肌身離さず持って歩いております。「書く、誓う、実行する」、何も特別なことではありません。実は社内でこの勉強会に出席すること、明らかにしていませんでしたので、「私なりの宣言、お客様に感謝する事を初め、必死になって実行していく事」を研修会で誓ってきたことを社内で発表させていただきました。

これまで自分の女房をないがしろにしてきたことは無いつもりですが、敢えて妻への感謝の手紙も書きました。

倫理では家庭が夫婦が源であるからです。

☆この 3 日間の熱い想いだけで終わすことなく、皆さんにお世話になってきたこと、色んな勉強があり、自分を高める為の手法として実践で、体で教えていただいた事、大変有意な経験と考え、宣言した以上、命ある限り、実行して行きたと考えております。

最後に、今日ここで話させていただく機会を得ましたこと、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。